

2004（平成16）年8月3日
東京都病害虫防除所

平成 16 年度 病害虫発生予察情報 注意報 第 3 号

病害虫名： ハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）

対象作物： アブラナ科作物
（キャベツ，ブロッコリー，ダイコン，コマツナなど）

1．注意報の内容

- (1) 対象地域 都内全域
- (2) 発生量 多
- (3) 発生時期 8～10月

2．注意報発令の根拠

- (1) 8月上旬の農業試験場本場（立川市）における寄生株率は，最大でコマツナではほぼ100％，キャベツでは約30％と例年の数％よりも大幅に高かった。
- (2) 気象予報によれば，向こう1か月の気温は高く，降水量は平年並と予想されており，今後も発生は継続すると考えられる。
- (3) 本種は夏季が高温で乾燥すると多発することが知られており，今後の気象予報と合致する。

3．防除対策

- (1) 幼虫は，育苗期に生長点付近の葉や芯を加害する。幼苗期にキャベツやブロッコリーが加害されると芯止まりになるので，早期発見，早期防除に努める。
- (2) 成虫の発生は10月まで続くと予想され，この期間中には種や育苗および定植を行う作型は育苗期から防除を行う。
- (3) 本圃では，生育初期から寒冷紗被覆を行うと成虫の飛来・産卵を阻止することができるうえに，コナガやヨトウムシ類などの害虫防除にも有効である。
- (4) 防除指針を参照して薬剤を散布する。

参考：ハイマダラノメイガに登録がある農薬

(凡例：商品名 系統 使用時期/回数 希釈倍数)

アブラナ科野菜類

チューンアップ顆粒水和剤 BT 発生初期ただし収穫前日まで/4回 2000～3000倍

非結球アブラナ科葉菜類

アフーム乳剤(ただし、シオノギ・アフーム乳剤は除く)他 7日/3回 1000～2000倍
(のざわな、チンゲンサイ、コマツナを除く)

スピノエース顆粒水和剤(ただし、シオノギ・スピノエース顆粒水和剤は除く)他
14日/2回 2500～5000倍(みずなを除く)

カリフラワー(はなやさい)

DDVP乳剤75 有機リン 3日/6回 1500～2000倍

ディプレックス乳剤 有機リン 14日/2回 1000倍

キャベツ

マトリックフロアブル IGR 7日/4回 2000倍

アクタラ粒剤5 ネオニコチノイド 定植時/1回 株あたり2g

モスピラン粒剤 ネオニコチノイド 定植前日～当日/1回 株あたり0.5g

アフーム乳剤(シオノギ・アフーム乳剤は除く)他 7日/3回 1000～2000倍

DDVP乳剤75 有機リン 3日/5回 1500～2000倍

ディプレックス乳剤 有機リン 7日/6回 800～1000倍

スピノエース顆粒水和剤 他 3日/3回 5000倍

トルネードフロアブル 他 7日/2回 2000倍

ハチハチ乳剤 他 14日/2回 1000倍

ダイコン

マトリックフロアブル IGR 7日/3回 2000倍

DDVP乳剤75 有機リン 14日/6回 1500～2000倍

オルトラン水和剤 有機リン 14日/2回 1500倍

ジェイエース水溶剤 有機リン 14日/2回 1500倍

ディプレックス乳剤 有機リン 14日/6回 800～1000倍

ハチハチ乳剤 他 14日/2回 1000～2000倍

ブロッコリー

DDVP乳剤75 有機リン 7日/6回 1500～2000倍

* 薬剤散布の際は、ラベルの記載事項をよく読むようにしてください。

なお、コマツナのハイマダラノメイガに対する登録農薬は少ない(アブラナ科野菜のチューンアップ顆粒水和剤ならびに非結球アブラナ科葉菜類のスピノエース顆粒水和剤のみ：ただし、シオノギ・スピノエース顆粒水和剤は除く)ため、寒冷紗などの被覆栽培を積極的に行うようにしてください。

.....

防除所ホームページ <http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

テレフォンサービス 042(525)8407

今後の予察情報にご注意下さい。

E-mailアドレス S0200303@section.metro.tokyo.jp